

17:9 わたしは彼らのためにお願いします。世のためにではなく、あなたがわたしに下さった人たちのためにお願いします。彼らはあなたのものですから。

17:10 わたしのものはすべてあなたのもの、あなたのものはわたしのものです。わたしは彼らによって栄光を受けました。

17:11 わたしはもう世にいません。彼らは世にいますが、わたしはあなたのもとに参ります。聖なる父よ、わたしに下さったあなたの御名によって、彼らをお守りください。わたしたちと同じように、彼らが一つになるためです。

17:12 彼らとともにいたとき、わたしはあなたが下さったあなたの御名によって、彼らを守りました。わたしが彼らを保ったので、彼らのうちだれも滅びた者はなく、ただ滅びの子が滅びました。それは、聖書が成就するためでした。

17:13 わたしは今、あなたのもとに参ります。世にあってこれらのことを話しているのは、わたしの喜びが彼らのうちに満ちあふれるためです。

17:14 わたしは彼らにあなたのみことばを与えました。世は彼らを憎みました。わたしがこの世のものでないように、彼らもこの世のものではないからです。

17:15 わたしがお願ひすることは、あなたが彼らをこの世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。

17:16 わたしがこの世のものでないように、彼らもこの世のものではありません。

17:17 真理によって彼らを聖別してください。

あなたのみことばは真理です。

17:18 あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。

17:19 わたしは彼らのため、わたし自身を聖別します。彼ら自身も真理によって聖別されるためです。

イエス様の祈りは常に弟子たちのためであり、またそれはすべての時代の信徒のためです。弟子たちも含めて、その信仰は完全ではありませんが、イエス様は信徒によって「栄光を受け」ることができるのです。私たちは世にあって、イエス様の栄王を表しましょう。

イエス様は「彼らをお守りください」と祈りますが、それは「一つとなるため」です。信仰者の愛の一致を強く願っておられるのです。しかしそれは真理であるイエス様を中心にした一致であって、敵対者である「滅びの子」までも仲間にしてしまうような、いい加減な一致ではありません。福音の真理は曲げないようにしましょう。聖書の成就しなわちみことばにしっかりと従いましょう。

イエス様は弟子たちについて「この世のものではない」と二度も語っておられます。信仰者は、すなわち永遠のいのちをいただき、天に国籍の有る者は、この世に生きていながらこの世のものではないのです。ですからこの世が滅びても滅びることはなく、この世が裁かれても裁かれることがないのです。

ですから私たちがこの世の人々と違う生き方をするのは当たり前です。しかしまた「この世から取り去」られるわけではありません。この世の人々と交わりながらも、「真理によって」生きることにより、「聖め」られ「別」たれているのです。それがクリスチャンの希望であり、愛であり、また生き方です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

